

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】令和 3 年 7 月 26 日 (2021.7.26)

【公開番号】特開 2020-65660 (P2020-65660A)
 【公開日】令和 2 年 4 月 30 日 (2020.4.30)
 【年通号数】公開・登録公報 2020-017
 【出願番号】特願 2018-199630 (P2018-199630)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 3 3 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 5 月 28 日 (2021.5.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

設定値が登録設定値として記憶される記憶部と、
前記登録設定値に応じて遊技の進行を制御する遊技制御部と、
始動口への遊技球の入球に起因して大当たりの当否判定を行う判定部と、
前記判定部により大当たりの当選の判定結果が導出された場合に、大入賞口を開閉制御して大役遊技を実行する大役遊技制御部と、
前記登録設定値として所定の設定値が記憶されていることを示唆する示唆演出を実行する演出制御部と、
 を備え、
 前記演出制御部は、
前記大役遊技の開始から終了までの期間、前記示唆演出の実行を制限することを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

設定値が登録設定値として記憶される記憶部と、
前記登録設定値に応じて遊技の進行を制御する遊技制御部と、
前記登録設定値として所定の設定値が記憶されていることを示唆する示唆演出を実行する演出制御部と、
 を備え、
 前記演出制御部は、
所定のエラーが発生した場合、および、電源復旧が発生した場合の少なくともいずれか一方の場合に、前記示唆演出の実行を制限することを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 1】

本発明は、登録設定値が記憶される記憶部が設けられた遊技機に関する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

上記課題を解決するために、本発明の遊技機は、設定値が登録設定値として記憶される記憶部と、前記登録設定値に応じて遊技の進行を制御する遊技制御部と、始動口への遊技球の入球に起因して大当たりの当否判定を行う判定部と、前記判定部により大当たりの当選の判定結果が導出された場合に、大入賞口を開閉制御して大役遊技を実行する大役遊技制御部と、前記登録設定値として所定の設定値が記憶されていることを示唆する示唆演出を実行する演出制御部と、を備え、前記演出制御部は、前記大役遊技の開始から終了までの期間、前記示唆演出の実行を制限することを特徴とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

上記課題を解決するために、本発明の遊技機は、設定値が登録設定値として記憶される記憶部と、前記登録設定値に応じて遊技の進行を制御する遊技制御部と、前記登録設定値として所定の設定値が記憶されていることを示唆する示唆演出を実行する演出制御部と、を備え、前記演出制御部は、所定のエラーが発生した場合、および、電源復旧が発生した場合の少なくともいずれか一方の場合に、前記示唆演出の実行を制限することを特徴とする。